

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）

概要

大阪成蹊大学 データサイエンス学部では、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムを開設しています。本プログラムは、「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（応用基礎レベル）」に申請中です。

目的

データサイエンスの基本的な知識と技術、機械学習や統計学の初歩的な概念、プログラミングの基礎・応用など幅広い内容を教授することを目的としている。

身に着けられる能力

データの収集から解析、解釈に至るまでの一連の方法を学び、科学的思考法と方法論の学習を通じて、データに基づいた意思決定の重要性を認識し、実際のデータを分析して有益な情報を抽出する技術を習得する。

プログラムを構成する授業

- ・成蹊基礎演習 1
- ・プログラミング基礎
- ・統計学 1
- ・データサイエンス概論
- ・計算機概論 1
- ・データマイニング基礎
- ・未来クリエーションプロジェクト 1
- ・未来クリエーションプロジェクト 2

修了要件

プログラムを構成する 8 科目（成蹊基礎演習 1、プログラミング基礎、統計学 1、データサイエンス概論、計算機概論 1、データマイニング基礎未来クリエーションプロジェクト 1、未来クリエーションプロジェクト 2）

合計 20 単位すべてを取得すること。

実施体制

プログラムの授業はデータサイエンス学部の 15 名の教員が担当している。プログラムを改善・進化させるための体制として、全学の教学改革 FSD 会議の下に学部横断的なプロジェクトである「全

学的な AI・数理・データサイエンス教育の構築と学内 DX の推進プロジェクト」が配置されている。また、本プロジェクトの下で授業アンケートなどの結果に基づき自己点検・評価を実施している。

数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（応用基礎レベル）申請書

[情報公開のページ](#)にて公開する。

自己点検・評価について

[情報公開のページ](#)にて公開する。